

## 菅野久信先生を偲んで

一般財団法人MOA健康科学センター  
業務執行理事 内田 誠也

菅野久信（すがの・ひさのぶ）先生が、令和6年12月7日、享年101歳で逝去されました。

菅野先生は大正12年に福岡県久留米市でお生まれになり、昭和17年に東京大学第2工学部をご卒業後、昭和19年から30年にかけて、九州大学医学部薬理学教室において助手および講師として勤務されました。昭和27年から30年にはロックフェラー財団のフェローとしてシカゴ大学薬理学教室に留学、さらに昭和31年にはオーストリア政府の招待によりウィーン大学心理学教室にも留学され、国際的にも広い視野で研究に取り組まれました。

帰国後は九州大学医学部心身医学教室にて、心身医学の先駆者である故・池見酉次郎先生（九州大学医学部心療内科初代教授）のもとで助教授として研究を進められました。マイクロバイブレーションや重心動揺計など、先進的な医療機器の開発にも尽力され、日本の心身医学の発展に大きく貢献されました。

その後、昭和36年には九州大学医療短期大学部教授に就任され、昭和49年からは産業医科大学教授として教鞭を執られました。平成2年まで、脳波測定を用いた香りの生理心理学的効果の研究に取り組まれていました。

平成3年、池見先生とMOAインターナショナル理事長・川合先生との出会いを契機に、全人的医療の視点に基づく自然順応型健康法の科学的研究の推進について話し合われ、同年、福岡県粕屋町にMOA九州生命科学研究所が設立されました。池見先生から厚い信頼を寄せられていた菅野先生が、初代所長として研究所を率いられました。

当財団は、菅野先生に研究を委託し、岡田式浄化療法の科学的検証が本格的に開始されました。研究の進展に伴い、その成果の公益性を高めるため、平成7年にMOA九州生命科学研究所は当財団に併合され、菅野先生は福岡研究所の所長に就任。平成16年からは当財団の顧問として活動されました。岡田式浄化療法に関する多くの論文の執筆・支援を通じて、同療法の科学的有効性を社会に広く伝えることに尽力されました。

私自身は平成3年よりMOA九州生命科学研究所の研究員として勤務を始め、菅野先生から研究の基本姿勢を直接ご指導いただきました。先生は非常に好奇心旺盛で、世界中の医療機器や分析手法などに関する情報を積極的に収集され、それらの研究への応用を常に模索されていました。興味を持たれた機器や手法があれば即座に導入され、「内田君、これを使って実験してみらんね」と、福岡弁で気さくに声をかけてくださったことが今も印象に残っています。当時、先生のご紹介により、九州大学心療内科の研究者と交流する機会を得て、心拍変動解析という新たな技術を学びました。この経験は、現在に至るまでの研究に大きく活かされ、心拍変動の測定は健康チェックの主要な指標となり、岡田式浄化療法をはじめとする岡田式健康法の自律神経機能への影響評価にも役立てられています。

また、先生のお導きで、九州大学工学部の上野照剛教授（当時）とのご縁をいただいたことが、私の進路に大きな影響を与えました。上野教授のもとで医用工学を学ぶ中で、教授が故・渥美和彦東京大学名誉教授（日本統合医療学会初代理事長）の紹介により東京大学に転任されたことをきっかけに、私も東京大学で学ぶ機会を得ることができました。そこで博士（工学）の学位を取得し、その後、脳波研究の成果を活かして、2012年には岡田式浄化療法が脳波に及ぼす影響に関する論文を米国の学術誌に掲載することが

できました。これが、岡田式浄化療法の科学的エビデンスのひとつとなりました。現在、私が日本統合医療学会認定施設である東京療院にて研究を続けられているのも、菅野先生をはじめ、上野先生や渥美先生とのご縁があってこそと、深く感謝しております。

菅野先生と最後にお会いしたのは、新型コロナウイルスが拡大する直前、私が熊本に帰省した折のことでした。その際、「また一緒に飲みたいですね」と約束したのに、それが叶わなかったことが心残りです。先生はワインと魚料理をこよなく愛され、飲み会では常に明るく、「わっはっは！」と豪快に笑われる声が、今も耳に残っています。もう一緒に杯を交わすことができないのは寂しい限りですが、今頃は天国で、大親友であった故・山岡淳先生（日本大学名誉教授）と楽しく語らいながら、お酒を楽しんでおられることと思います。

菅野先生は、当財団における岡田式健康法の研究発展に大きな功績を残されたばかりでなく、私自身の人生にも深く関わっていただきました。心より感謝申し上げます。私たち職員一同、先生のご遺志を受け継ぎ、岡田式健康法の生命科学研究をさらに推進し、その成果を世界に向けて発信してまいります。

**【職名、学位】** 産業医科大学名誉教授、医学博士（九州大学）

**【専門領域】** 医用生体工学、脳波、マイクロバイブレーション



第6回岡田式健康法研究会（福岡）にて研究員とともに（2014年）



琉球大学医学部にて講演（2003年）

## 【略 歴】

大正12年（1923）久留米市生まれ  
 昭和17年（1942）  
 東京大学第2工学部卒  
 昭和19年－30年（1944－1955）  
 九州大学医学部薬理学教室助手-講師  
 昭和27年－30年（1952－1955）  
 Rockefeller財団のFellowとしてシカゴ大学薬理学  
 教室  
 昭和31年（1956）  
 オーストリア政府招待によりウィーン大学心理学  
 教室にてマイクロバイブレーションの共同研究  
 昭和32年－36年（1957－1961）  
 九州大学医学部心身医学教室所助教授  
 昭和33年（1958）  
 九州大学で医学博士を授与  
 昭和36年－49年（1961－1974）  
 九州大学医療短期大学部教授  
 昭和49年－平成2年（1974－1990）  
 産業医科大学医学部教授  
 平成2年（1990）4月  
 産業医科大学名誉教授

## 【MOAとの関係】

平成3年－7年（1991－1995）  
 MOA九州生命科学研究所所長  
 平成7年－16年（1995－2004）  
 当財団生命科学研究所（福岡研究所）所長  
 平成16年－令和6年（2004－2023）  
 当財団顧問

## 研究業績（論文のみ）

## 【英文誌】

- 1) Sugano H, Uchida S, Kuramoto I. A new approach to the studies of subtle energies. *Subtle Energies*. 5(2), 143-166. 1994
- 2) Uchida S, Kuramoto I, Sugano H. Studies of healing effects using the Kirlian photography. *Journal of International Society of Life Information Science*. 14(2), 153-161. 1996
- 3) Kuramoto I, Uchida S, Tsuda Y, Sugano H. Electrophysiological study of untouched healings on the autonomic nervous function under both suggestive and non-suggestive conditions. *Journal of International Society of Life Information Science*. 15(2), 330-341. 1997
- 4) Uchida S, Iha T, Yamaoka K, Nitta K, Sugano H. Effect of biofield therapy in the human brain. *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*. 18(9), 875-879. 2012

## 【和文誌】

- 5) 安松聖高, 内田誠也, 菅野久信. 乳児の脳波に及ぼす香りの影響. *九州精神医学誌*. 38, 294-297. 1992
- 6) 菅野久信, 内田誠也. 脳波および自律神経系機能に及ぼす手かざし治療の効果. *MOA健科報*. 1, 303-315. 1993
- 7) 佐藤信茂, 菅野久信, 安松聖高, 内田誠也. 香りと生活に関する生理心理学的研究. *MOA健科報*. 1, 283-301. 1993
- 8) 菅野久信, 内田誠也, 安松聖高, 佐藤信茂. 香りの誘発反応について. *MOA健科報*. 1, 273-278. 1993
- 9) 山岡淳, 菅野久信, 大村政男, 梶村憲之, 山本麻子. 気功の生理心理学的研究（第1報）. *MOA健科報*. 1, 261-271. 1993
- 10) 山岡淳, 菅野久信, 大村政男, 梶村憲之, 山本麻子. 気功の生理心理学的研究（第2報）. *MOA健科報*. 2, 141-165. 1994
- 11) 菅野久信, 内田誠也, 蔵本逸雄, 板敷貴之. キル

- リアン写真の心理生理学的研究への応用. MOA健科報. 2, 167-178. 1994
- 12) 安松聖高, 内田誠也, 菅野久信, 鈴木尊志. 乳児の脳波に及ぼす母乳とオレンジの香りの影響. Journal of UOEH. 16(1), 71-83. 1994
- 13) 菅野久信, 内田誠也. 脳波と気功. 臨床脳波. 37(11), 736-740. 1995
- 14) 蔵本逸雄, 内田誠也, 菅野久信. 矩形パルス応答電流による気功効果の考察. IC MAAINE '95. 82-85. 1995
- 15) 内田誠也, 蔵本逸雄, 菅野久信. 木の葉のコロナ放電写真を用いた気功の効果. IC MAAINE '95. 114-117. 1995
- 16) 白水鋭子, 白水重憲, 津田康民, 菅野久信. 指尖容積脈波からの循環器系のパラメータの抽出 I 指尖容積脈波の波形解析. MOA健科報. 6, 69-82. 1997
- 17) 白水重憲, 津田康民, 白水鋭子, 菅野久信. 上腕動脈圧脈波よりの血管コンプライアンス推定とカオス解析. MOA健科報. 6, 83-90. 1997
- 18) 白水重憲, 津田康民, 白水鋭子, 菅野久信. 人間発生乱数の相関次元. MOA健科報. 6, 91-98. 1997
- 19) 白水重憲, 津田康民, 磯崎宏, 米本孝二, 白水鋭子, 菅野久信. ティーセラピー効果の定量化を目指して. MOA健科報. 6, 105-110. 1997
- 20) 白水重憲, 菅野久信. 指尖容積脈波の波形解析 (1) 現象論的方法の比較. MOA健科報. 8, 61-69. 1999
- 21) 白水重憲, 菅野久信. 指尖容積脈波の波形解析 (2) システム同定から波形モデリングへの道程. MOA健科報. 8, 71-75. 1999
- 22) 白水重憲, 菅野久信, 前田竜雄, 佐伯俊英. 上腕動脈のコンプライアンス測定装置の開発. MOA健科報. 8, 77-83. 1999
- 23) 内田誠也, 津田康民, 菅野久信, 山岡淳, 新田和男. 岡田式浄化療法が人の心拍変動に及ぼす影響. MOA健科報. 12, 27-34. 2009
- 24) 内田誠也, 津田康民, 木村友昭, 山岡淳, 新田和男, 菅野久信. 肩の筋硬度計測による肩こりの評価に関する検討. 心身医学. 51(12), 1120-1132. 2011
- 25) 内田誠也, 木村友昭, 津田康民, 坂口弘征, 利見晃二, 新田和男, 菅野久信, 山岡淳. 職域健診における健康状態およびライフスタイルの調査. MOA健科報. 15, 45-56. 2011
- 26) 内田誠也, 伊波剛彦, 山岡淳, 新田和男, 菅野久信. 岡田式浄化療法が人の脳波に及ぼす効果. MOA健科報. 16, 65-74. 2012